

「フクロウの巣箱 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今年も野鳥の営巣の時期になった。私の山荘(北軽井沢栗平)は、鷹繫山(たかつなぎやま)の麓にあり、森にはフクロウが住んでいる。今年も巣箱の中にカメラを設置し、営巣の様子を観察することにした。



巣箱は、大笹(嬬恋村)の木工職人に特注したものである。鳥類の専門家に意見を聞いて、大きさやカメラの設置方法を検討した。この巣箱は何年か前に実際にフクロウが営巣して、ヒナを育てた一代目の巣箱だ。その後別の巣箱を設置したが、風雪で壊れてしまったので、一代目を修理して使うことにしたのだ。



これが上から見た、カメラの設置状況。カメラは耐候性のある高感度 CCD カメラで、赤外線照明を装備しているので、夜間は真っ暗になる巣箱の中でも、鮮明に映すことができる。電源入力と、ビデオ出力のコードを巣箱の外に出している。



カメラのサーバー(画像を変換してインターネット経由で配信する装置)は山荘の母屋にある。巣箱のカメラとは、50メートルのコードで繋いでいる、このコードは耐候性に優れ、設置して8年間、一度も断線したことがない



巣箱の設置状況。設置する高さは地上8メートルが理想である。しかし、巣箱は非常に重く、一人ではこの高さが限界だった。しかし、人の全く来ない森なので、きっと営巣してくれるだろう。(つづく)